

五観中だより

【正門前「校訓」碑】

広島市立五日市観音中学校『学校通信』第7号

平成22年8月31日 発行



みんなの力で落ち着いた環境を築いていこう

長い夏休みで、何か成長・進歩した点はありましたか。昨日から再び、学校生活を中心とした日常が始まりました。私生活とのけじめをしっかりとつけ、学校という公共の場で、いろいろな「生きる力」を身につけていきましょう。



そのために、全校生徒の皆さんに考えてもらいたいことがあります。7月までを振り返ると、学校生活全般に落ち着きがなく、保護者から、多くの卒業生や地域の方々まで心配をかけてしまいました。自由参観という形で、より多くの機会、保護者の方々に皆さんの様子を見に来ていただいたり、PTA役員やおやじの会、地域の方々が昼休憩等、巡視に来てくださったたり、学年別に保護者集会を開いて学校の実態や取り組みを説明したりしてきました。その際には、学校や頑張っていない生徒の皆さんに対して、大変厳しい評価や意見が出されました。

生徒の皆さんの中にも、良くない言動に困惑している人もいるでしょうし、自分自身も悪い雰囲気に流されながら、「このままではいけません!」と思っている人も、たくさんいると思います。

このままではダメだ! 本気で改善を図ろう。君達の自治の力も必要だ!

夏休み明けから学校では、ベル着の徹底とあいさつの推進を中心に、学習規律や基本的生活習慣の立て直しを図っていこうと考えています。

学校は学習の場です。時間を守り、授業を大切にする意識を向上させていきましょう。ここで重要なのは、君達生徒どうしが声をかけ合えるようになることです。楽しい行事の時は、結束して自分たちを認め合い、高め合える皆さんのエネルギーを、ぜひ、正しい当たり前の行動をする時にも発揮してください。

また、良好な人間関係づくりの第一歩として気持ちの良いあいさつを交わしましょう。

守るべき約束事・・・ご理解とご協力を
異装・染髪の場合、改めてから登校です。
携帯電話・菓子類等、不要物は持ち込みを
禁止しています。
暴力・暴言は許されません。絶対にやめま
しょう。
授業中の私語など、授業妨害はいけません。

おはよう
ございます。



はじめある生活を送るために
時間を守ろう
服装や頭髪を整えよう
言葉遣いに気をつけよう
元気よくあいさつをしよう

教室にも掲示
常に意識しよう!

気持ちよく授業を始めるために
チャイムとともに着席しよう
黒板をきれいにしよう
机を整頓しよう
まわりのゴミを拾おう
カバンはロッカーに置こう
大きな声であいさつしよう

保護者の皆様、生徒の皆さん **よろしくお願ひします** ~教職員の人事のお知らせ~

昨日8月30日より、1年2・3・4・5組の家庭科の授業を、國次恵利子 教諭に代わり、板倉梨紗 教諭が担当することとなりましたので、お知らせいたします。これまでどおり、教職員一丸となって教育活動を進めてまいります。ご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。

広島の中学生 審判補佐（バスケ全中）

広島・廿日市市の中学生部員が、審判を補佐し、試合の得点や時間を管理するテーブルオフィシャルズなどで運営を支えた。24校の約260人が1年かけて習得。

意思疎通を図り、迅速な進行で選手や観客を試合に集中させるのがポイントだ。

昨年8月から県内の5大会でリハーサル。日本協会の指導も受け、全中に向けて技量を磨きあった。

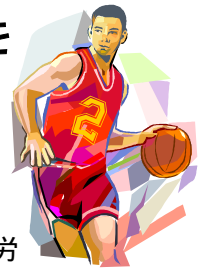
女子決勝の審判で、指導もしてきた同協会規則審判部のK委員は、「試合に集中できた。彼らがいなければ、大会は成立しなかった。」と称賛。同決勝を担ったJ中3年のFさんは「10人が結束し、日本一を決める試合で冷静に対応できた。」と仲間と達成感を分かち合った。

～8月26日発行『中国新聞』より抜粋～

日頃から、顧問の先生方や指導者、応援してくれる人たち、共に頑張る仲間、そして、大会運営に携わるすべての方々に、感謝の気持ちを持ちましょう。体育系各部は、3年生が引退し、新チームがスタートすると思います。2年生がリーダーです。気持ちも新たに頑張っていきましょう。

最後に、全中バスケット会場で感じたことですが、人並み以上の努力と経験を積んできたと思われる選手たちは、大会関係者とわかれば、元気に礼儀正しく「あいさつの言葉」をかけていました。自分たちのために舞台を整えてくれる人たちに対し、感謝の気持ちから自然に行動に移せるのでしょうか。そして、最善の競技環境の中で、鋭い眼差しで競技に集中する姿は、やはり格好よかったです。

感謝の気持ちで精進を



今夏は、中国ブロックで中体連各競技の全国大会が行われました。広島市は、バスケットボールと水泳の開催地でした。大きな大会を運営するには、実に多くの人の苦勞があります。両競技以外の部の顧問の先生方まで大会運営の手伝いに行かれたことは、皆さんも知っているでしょう。

左の新聞記事には、中学生が大会運営を補助員として手伝ったことが紹介されています。実は、何も全中のような大きな大会に限ったことではありません。皆さんの多くも経験しているはずですが、大会・試合は、選手がいなくても成立しますが、審判やそれを補佐してくれる補助員がいなくては成立しません。自分たちが個々に目標を持って大会に臨み、思いつきプレイできるのは、そういった人たちの努力があってこそだということを忘れてはいけません。

残暑(猛暑)お見舞い 申し上げます

8月25日、学校保健委員会が開かれました。学校医の先生方も出席されました。その席で、やはり、連日の猛暑・熱中症が話題になりました。9月になってからも、この暑さが続きそうです。部活動中など、こまめな休憩・給水、特にグラウンドでは日陰づくりが大切です。ただ、夏休み中、坂道を登校して来て、部活動に参加していた人は、この暑さに体が慣れているでしょうが、あまり外出したり運動したりする機会がなかった人が心配なので、十分気をつけてくださいとのことでした。

また、平成20年からの中学1年生を対象とする

「麻しん・風しんの予防接種」についても話題になりました。過去2年、本校は、接種を受けた人の割合が、県や全校と比べると低いそうです。市から、対象者に『予防接種票』が送られていると思います。

*無料接種は3月31日までです。

*健康状態の良いときに、母子健康手帳と『予防接種票』を

持参して、かかりつけの医療機関等で受けてください。(事前に予約が必要なことがあります。)

*『予防接種票』をお持ちでない方は、佐伯保健センター(943-9731)にお問い合わせを。



8月6日発行の『五観中だより』に9月行事予定表を掲載しておりましたが、本号裏面に改めて印刷しました。ご確認ください。